



6月 すみれだより

2024/06/01

園庭ではいちごを摘んだり、ダンゴムシや虫探しを楽しんでいる子どもたち。ダンゴムシを触るのはちょっと怖いけど、近くで見たり、バケツに集めたりとお友だち同士、頭を引っ付けてダンゴムシや虫を追いかける姿があります。気温も湿度も上がり、ジメジメと蒸し暑い季節になりますが、裸足で園庭に出て、様々な感触を楽しみながら、元気いっぱい遊んでいきたいと思っています。

6月は梅雨の時期です。季節の制作も楽しんでいきたいと思っています。絵の具でポンポンしたおっきなあじさい。そこに子どもたちがつくったカエルやカタツムリがあそびにきます。どんな作品になるか楽しみです！



【ジャンプ！ジャンプ！・ぶーらん、ぶーらん】

巧技台からジャンプ！、鉄棒でぶーらんぶーらん、トランポリンでピョンピョン、全身を使って遊ぶことを楽しんでいます。

巧技台のジャンプもはじめは保育者と手を繋いで、恐る恐るとんできたお友だちも自分から大きくジャンプ！「できたよ！」と嬉しそうにハイタッチをしています。鉄棒では両手でしっかりと鉄棒を握って、足を上げてぶら下がっています。5秒、、、そして10秒としっかりと握ってぶら下がる時間も長くなってきました。

子どもたちと「できたよ！」「うれしいよ」「もうっかい！」とたくさん体を動かして遊んでいきたいと思っています。



お姉さん、お兄さん持ちしてるんだ！

給食の時間になると、スプーンやフォークを持って、「こうだっけ？」「みて！おねえさんもちしたよ！」とそれぞれ逆手や三指持ちを意識して持ち、ご飯を食べる姿があります。途中で順手持ちになることもありますが、保育者が「お兄さん持ちどうだっけ？」と声をかけると逆手、三指に持ち替えていますよ。個人差はありますが、わかばさんになると、三指持ちができるようになってきます。懇談会でもお伝えしましたが、園だけでなく、ご家庭でも一緒にスプーンの持ち方を伝えていただくことで、しっかりと身に付いてくると思います。裏面にスプーン・フォークの持ち方を載せていますので、ぜひ一緒に伝えていただければと思います。

スプーン・フォークの持ち方



1 順手持ち

はじめて食具を持った時には、このように手の甲を上にした持ち方をします。



2 逆手持ち

次のステップ！

手首を返して、食具を下から握ります



3 三指持ち(鉛筆持ち)

手首を使い、こぼさずに食事ができるようになったら、箸への移行準備！

ここがポイントです！

手指の発達を促したり、使うためには・・・

お菓子の袋を開ける・やぶる、ヨーグルトなどのふたを開ける、混ぜる、ボタンをかけるなど、遊びや生活の中でたくさん手指を使いましょう。上手にスプーン・フォークを使えることが、箸へのスムーズな移行へつながります。